



## 新旧の技術を 取り入れた 歯科技工を 目指して

日本歯科技工学会認定士  
(技工室)

鴨居浩平(かもいこうへい)さん  
歯科技工士

鴨居歯科技工士は、日本歯科技工学会認定士を全国最年少の29歳で取得しました。この資格は5年の経験年数の他に学会発表や推薦人が必要になります。取得のきっかけとして、大学病院で働くということはレベルの高い医療を提供する責任があること、自分自身にプレッシャーを与えるため、指標の一つである認定技工士の取得を目指することになりました。歯科技工士の活躍の場は、民間の歯科技工所が大半ですが、大学病院を選んだ理由は歯科医師や歯科衛生士、患者さんと接する機会があるため、視野が広がると考えたそうです。歯科医師との意見交換や、患者さんの意見は技術の向上に繋がっています。日頃から「歯科技工が作業化しないこと」を心がけ、患者さんの希望に沿えるように、試行錯誤しながら取り組んでいます。今後の取り組みとして、「近年、睡眠時無呼吸症候群に対してマウスピース治療が導入されたように、歯科分野から貢献できる新たな治療法を様々な職種と共に考え、取り組んでいきたい。また、先輩方が積み上げてきた技術に新しい技術を取り入れて誠実に仕事をしていきたい。」と、お話しいただきました。